

はじめに

本書は平成 27–28 年度の関西大学研究拠点形成支援を受けた、「国際的な研究拠点としての関西大学英語ライティング・ハブの設立および英語論文ライティング支援ツールの開発」の研究成果として公刊するものです。

英語学術論文執筆については数多くのマニュアルが存在し、EAP (English for Academic Purposes) でも重視されているトピックですが、コーパス研究の発展とともに、内容が大きく変化してきています。上記の関西大学研究拠点形成支援では、そのような学術的背景に基づき、ブラウザ上で利用可能な英語学術論文作成支援ツールの開発を行いました (<http://langtest.jp/awsum/>)。

その開発や関連プログラムの報告、および、ジャンル指導や Classroom SLA, ルーブリックの活用など、今後の英語アカデミック・ライティング指導実践に適用できる内容が本書ではまとめられています。また、タイトルの「ICTを活用した英語アカデミック・ライティング指導—支援ツールの開発と実践—」が示すとおり、英語学術論文以外のアカデミック・ライティングの研究や実践にも応用できる内容となりました。本書が少しでも読者のみなさんの研究や実践のヒントとなることを编者として願っています。

最後に、本書を発刊するにあたりお世話になりました、株式会社金星堂の佐藤求太氏、および、研究のサポートをしていただいた、関西大学研究支援グループの池田香織氏をはじめ職員のみなさんに心より感謝します。

2017年3月31日

水本 篤

目 次

1. 理論と実践を融合した英語ライティング・ハブの設立に向けて	1-8
水本篤（関西大学）・染谷泰正（関西大学）・山本敏幸（関西大学）	
2. 英語論文執筆支援ツール AWSuM の開発	9-23
水本篤（関西大学）・浜谷佐和子（関西大学博士後期課程）・小山由紀江（名古屋工業大学）	
3. AWSuM 開発過程の自動化に関する検討	24-30
近藤悠介（早稲田大学）	
4. CasualConc でのアカデミック英語分析—単語検索からデータの視覚化まで—	31-61
今尾康裕（大阪大学）	
5. ジャンルに基づく学術論文の指導	62-77
大野真澄（慶應義塾大学）	
6. タグ付け作業による意識の変化とツールを使用したユーザーの感想	78-84
浜谷佐和子（関西大学博士後期課程）	
7. 学校英語教室でのライティング指導—SLA 研究の視点から—	85-91
濱地亮太（関西大学博士前期課程）・名部井敏代（関西大学）	
8. 要約指導を補助するツールとしてのループリックの活用	92-106
山西博之（関西大学）・大野真澄（慶應義塾大学）	
付録	
英語学術論文執筆支援ツール AWSuM マニュアル	107-122
水本篤（関西大学）	